

スクールトピックス



おいしそうな磐梯山デコレーションすしが出来ました



講師の指導を受けて真剣な表情で調理する児童

町内産米の消費拡大に向け

町では、米食の良さと町内農産物利用への関心を高めることを目的として、町内の小学生を対象とした児童向け料理教室を開催しています。この料理教室は、町農林課が食料自給率向上推進事業の一環として、社会科で稲作を学習する5年生を対象に各小学校で実施しています。

猪苗代小学校5年2組の児童21人を対象とした料理教室は11月16日、同校で開かれました。児童は、本町のブランド米であるいなわしろ天のつづを使用した「磐梯山デコレーションすし」、「キュウリとトマトのサラダ」、「ホウレン草とシメジのスープ」の3品を調理。町食生活改善推進員らが講師となり、児童に調理方法などを丁寧に指導しました。

遠藤陽加里さんは「楽しく作ることができました。とてもおいしかったので、家でも作ってみたいです。これからもたくさんご飯を食べたいです」と感想を話しました。

笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒にハイ、ポーズ

美織ちゃんの名前には「たくさんの糸を使って1枚の美しい織物を作るように、出会いと経験を重ねて美しい人生を織り上げてほしい」という両親の願いが込められています。

加藤 美織 ちゃん

平成27年5月生まれ
～四ツ谷
邦高さん・久美子さんご夫妻の長女

美織ちゃんは人と話すのが大好き。初対面の人にも、美織ちゃんから話しかけることが多いそうです。ママの久美子さんは「買い物に出かけると、美織はいつの間にか他の買い物客と仲良く話しているんです」と話します。誰とでもすぐに仲良くなれる美織ちゃん。先日行われた猪苗代スイーツフェスタでは、イベント会場で生演奏を披露した楽器奏者と仲良くなり、一緒にタンバリンを演奏したそうです。

久美子さんは「町中の人々が美織と話してくださるので、みんなに育ててもらっているところがあります。将来恩返しできる人になってほしいです」と話します。邦高さんは「なぜ、どうして、と疑問に思う気持ちを大事にしてほしいです」と話し、美織ちゃんを優しく見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

ホットニュース



来場者に作品を紹介する岩切さん(右)



花のアート写真を紹介する野口さん

学校の壁を芸術作品で彩る

学校の壁などを芸術作品で彩る「ウォールアートフェスティバルふくしまin猪苗代2018」は11月3、4の両日、猪苗代高校、翁島小学校、和みいな、はじまりの美術館を会場に開かれました。猪苗代青年会議所などをつくる実行委員会が主催しました。

猪苗代高校の教室の壁には、写真家の野口勝宏さんが撮影した50種類の花のアート写真が展示されました。野口さんは「作品の花は、猪苗代で育った野菜の花や庭先に咲いていた花を撮影したものです。ふるさとを誇れる糸口になれば」と話しました。

翁島小学校では、劇画家の岩切章吾さんが作品「きみの見る世界のはじまり」を制作。図工室の天井や壁、机に磐梯山や動物などの作品が広がりました。

実行委員長の楠恭信さんは「作品を通じて、子どもたちに学校やふるさとを新たな視点で見つめ直してほしいです」と話しました。

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

吉井 和磨 さん

主な活動内容：観光誘客、インバウンド事業



地域おこし協力隊の吉井和磨です。観光誘客とインバウンド事業に携わり、ホームページやSNSを活用した情報発信、イベントの企画・運営を行っています。

町の魅力を発信する一つの手段として、先日「出張！なんでも鑑定団in猪苗代」を開催し、町民をはじめ町外からも好評をいただきました。単なる情報発信だけでなく、にぎわいの創出にもつながったと思います。猪苗代町の放送回を見て「町おこしのために自分たちの自治体でも開催したい」という問い合わせが何件もあり、近隣市町村でも開催に向けて動いています。

猪苗代町の情報発信や町おこしを目的に誘致をした私としては、猪苗代町はもちろん、他自治体の町おこしにも貢献できていることが大変嬉しかったです。

地域おこし協力隊の任期には限りがありますが、少しでも町の発展に貢献したいと思っています。現在、新たな町おこし企画を練っていますので、今後ともよろしくお願ひします。